

新たな取組の紹介

令和 5年 3月 13日

国土交通省 中部地方整備局

豊橋河川事務所

多段階の浸水想定図と水害リスクマップ

- 国土交通省では、土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を令和4年9月30日に公表しました。
- なお、現在の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップは、国管理河川の氾濫のみを示しています。

<多段階の浸水想定図と水害リスクマップについて>

[多段階の浸水想定図]

- 公表済みの想定最大規模に加え、より頻度の高い複数の年超過確率毎に多段階の浸水想定図を作成。
- 今回作成した多段階の浸水想定図は以下の年超過確率の図面。

【矢作川水系】1/30・1/50・1/100・1/150

<矢作川水系 多段階の浸水想定図>

河道条件	降雨の年超過確率				
	1/10	1/30	1/50	1/100	1/150
現況 (令和2年度末時点)	-	●	●	●	●
短期整備後 (令和7年度末時点)	-	●	●	●	●

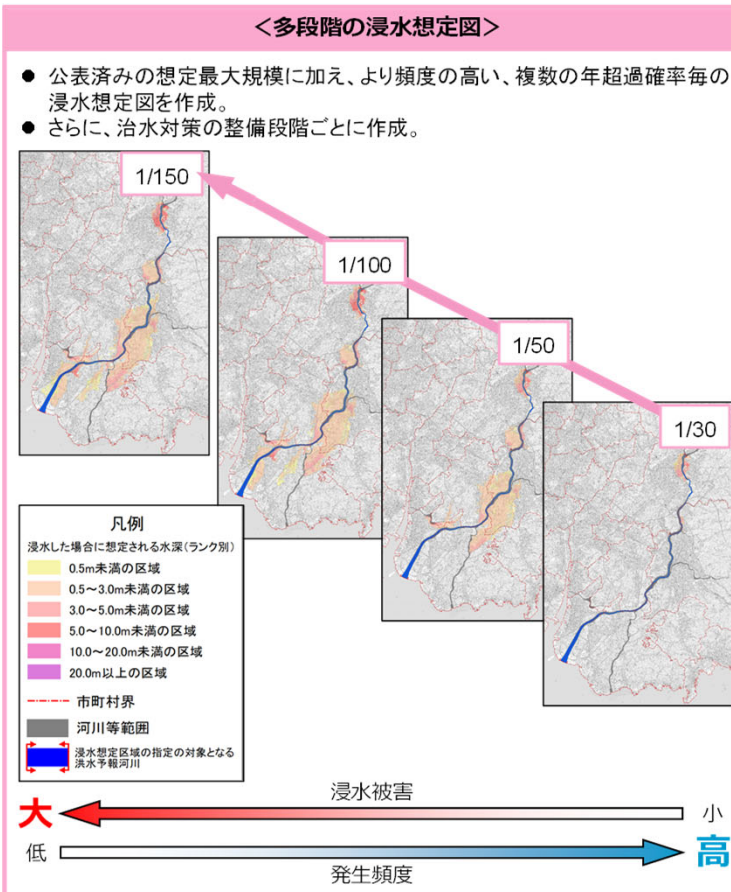
※ - : 浸水が発生しないことを示します。

[水害リスクマップ]

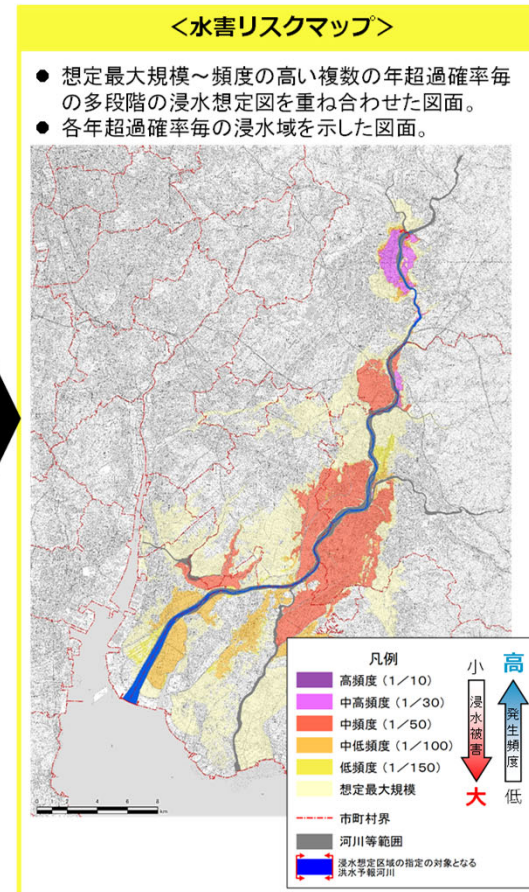
- 水害リスクマップは、1/10～想定最大規模降雨の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせた図面。
- 以下の浸水深毎に水害リスクマップを作成。
 - 浸水深 0cm 以上
 - 浸水深 50cm(床上浸水想定) 以上
 - 浸水深 3m(1階居室浸水相当) 以上

<矢作川水系 水害リスクマップ>

河道条件	浸水深		
	浸水あり	50cm以上	3m以上
現況 (令和2年度末時点)	●	●	●
短期整備後 (令和7年度末時点)	●	●	●



重ね合わせ



<水害リスクマップの活用イメージ>

- 住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等促進
- 企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

【今後の予定】

- 中期・中長期整備後の多段階の浸水想定図・水害リスクマップの作成
- 内外水一体モデルのリスクマップの拡張